

1976・1 NO.106 Vol.10 NO.1

●昭和50年11月20日印刷

●昭和51年 1月 1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／芦原 伸

佐藤礼子

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

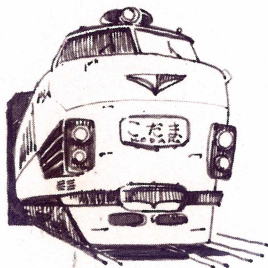
(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京82820番

●印刷所 凸版印刷株式会社



1976年は 日本の鉄道が新時代に向かって躍進する意義ぶかい年——。動力近代化が完了し蒸気機関車の煙は郷愁の彼方へと消え 新幹線を主軸とする近代列車網が日々に広がってゆく。欧米先進国でも21世紀めざして鉄道近代化が急ピッチで進んでいるが 狭い国土を高速列車がひんぱんに走る日本では騒音公害を追及する声も強く その前途はきびしいようだ。日本と海外の新しい鉄道の姿を1〜2月号の連続特集でご紹介しよう。

● 目次 特集●新時代の鉄道<第1部>

7 レールウェイ・レビュー 国鉄の新生に期待する

8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外の鉄道の動き)

—— 特集 新時代の鉄道 ——

ドキュメント★列車追跡①ワイド版

11 特急日本縦断^(前編)

西鹿児島→長野

種村直樹／井上広和／荒川好夫

41 国鉄の新しい車両(旅客車)

振子式381系特急形電車／485系特急形電車／581・583系特急形電車／181系特急形気動車／24系25形客車

52 新幹線電車おいたちの記

井上 等

58 天険‘碓氷峠’を征服した鉄道技術

北村 亨

特別企画●体験試乗ルポ

63 振子電車は走る

高田隆雄／山之内秀一郎
竹島紀元／荒川好夫

●‘名列車’誌上リバイバル①

76 信濃路をひた走るくしのの

松崎正治

83 近代の旅客車

加藤 亮

●新春随想

88 ‘ポッポヤ’になりそこねた男のたわごと

岡 壽麿

●名作リバイバル

89 特急形電車の発達

星 晃

107 海外の鉄道近況(前)ヨーロッパ

山之内秀一郎

117

136

トップ・アングル

119 レールファン・ノートから⑤地図と時刻表

本島三良

●新連載

123 路面電車再発見①

日本路面電車同好会

136 ‘台車’質疑応答

138 ある先覚者の軌跡をたどる④

伊藤東作

140 梅小路蒸気機関車館のフェスティバル

山村定雄

120

122

ブルー・トレイン

魚眼／新聞記事ざっくばらん／ワイドレンズ／鉄道友の会だより
／R J クイズ／ジャーナル編集室／次号予告／乗務員室